

人権教育指導資料

各教科の授業における
人権学習展開事例集

- 国語、社会、算数・数学、理科、生活、外国語（英語）編 -

平成18年3月

栃木県教育委員会事務局学校教育課

はじめに

栃木県教育委員会では、平成14年度からそれまでの同和教育を人権教育として再構築し、すべての学校すべての地域で推進しています。この間、各学校においては全体計画や指導方法の工夫・改善、校内研修の充実等に御尽力いただいているところです。

また、県教育委員会では昭和55年から指導資料を計画的に作成し、指導者の資質の向上に努めてまいりました。昨年度、一昨年度の2年間は、すべての教科の人権問題に関連する学習内容・学習活動を、教科書の内容に沿って一覧表に示し、指導計画の立案に参考となるような指導資料を提供いたしました。

今年度は、昨年度までの指導資料との関連を図り、一覧表に示した学習内容・活動を、実際の授業でどのように実践していくかということについて、具体的に示すことをねらいとした展開事例集を作成いたしました。各学校で、各教科の授業における人権教育を実践する際に参考にさせていただきたいと思います。

なお、ここに示しました内容は学校教育課のホームページにも掲載してありますので、デジタルコンテンツとしても御活用いただけます。

最後に、御多忙の中、本資料の作成に御尽力くださいました委員の皆様にご心からお礼を申し上げ、ごあいさついたします。

平成18年3月

栃木県教育委員会事務局

学校教育課長 古澤利通

目 次

はじめに

第 1 章 本資料の活用について _____ 1

1 本資料の作成方針 1

2 本資料活用に当たっての留意点 1

3 展開事例の構成 1

第 2 章 各教科における人権学習展開事例 _____ 3

【国 語】

小学校 4

中学校 9

【社 会】

小学校 1 3

中学校 地理 2 4

中学校 歴史 2 7

中学校 公民 3 2

【算数・数学】

小学校 3 7

中学校 4 0

【理 科】

小学校 4 4

中学校 4 7

【生 活】 5 1

【外国語（英語）】 5 3

おわりに

第1章 本資料の活用について

1 本資料の作成方針

学校教育においては、児童生徒の発達段階に即し、社会生活を営む上で必要な人権に関する知識、技能、態度などを身に付けられるよう、すべての授業の中に人権教育を機能させることが大切です。人権教育に配慮した授業は、間接的指導のタイプと直接的指導のタイプの2種類が考えられ、各教科等の特質や児童生徒の実態に応じて適切に実践していくことが望まれます。各学校では様々な工夫がなされているところですが、実際には、各教科で直接的指導のタイプの授業を実践する際に、人権問題にかかわるねらいや内容をどの程度扱ったらよいかなどの課題も生じてきています。

そこで、本資料では、各教科の授業において、教科のねらいを達成する中で人権問題に関する学習内容や学習活動をどのように展開していったらよいか、6教科について事例を示すことといたしました。

2 本資料活用に当たっての留意点

本資料は、人権教育導資料「人権問題に関連する学習内容・学習活動一覧」(平成15年度)に示された各教科の学習内容・活動などを、実際の授業で実践するために、ねらいや具体的な資料、指導の工夫等を展開事例として示したものです。

各学校においては、本資料に掲載されている事例を網羅的に実践するということではなく、各学校・児童生徒の実情に応じて工夫して活用し、授業における人権教育の充実に役立ててください。

また、本資料は、人権一般や人権問題に関する内容を各教科の授業でどう扱うかに主眼をおいて編集されているため、児童生徒の学習状況の評価については掲載しておりません。実践に当たっては、教科の学習状況の評価も含めて学習指導の充実を図ってください。

3 展開事例の構成

本資料の展開事例は、以下のような構成で作成されています。

学校種、教科、学年、本時で扱う人権問題を示しています。

1 教材名・題材名・単元名

本時の授業にかかわる教材、題材、または本時が含まれる単元名を、各教科の特性やそれぞれの授業の扱いに応じて示しています。

2 本時の目標

それぞれの教科における本時の指導の目標を示しています。

3 人権教育の視点

本時の授業を行うに当たって、どのような人権に関する内容を取り扱い、どのような能力・態度を育成しようとしているのかを示しています。

4 生かしたい児童生徒

本資料では、授業で生かしたい児童生徒の具体例を示しています。実践に当たっては、実際の各学級の実態に応じて生かしたい児童生徒を設定し、指導の充実を図ることが大切です。

5 展開例（略案）

各教科の授業を実践していく中で、人権教育と関連した学習活動・内容の部分を太字で示しています。

また、本時が単元全体のどの位置に当たるかについては、指導上の留意点に示しています。

6 資料

本時の展開に必要な資料は、基本的には掲載するようにしていますが、教科書を活用したり、著作権等により掲載が困難であったりするものについては、資料名やホームページのアドレス等で示しています。

7 ワークシート

本時の授業を展開するに当たり、特に人権に関する学習活動でワークシートを活用する事例については、各事例の最後にワークシートを掲載しています。学習状況に応じて適宜修正しながら活用してください。



第2章 各教科の授業における 人権学習展開事例

国語科

- 小学校 第1学年 「じゃんけん」(外国人) P4
第3学年 「もうどう犬の訓練」(障害者) P7
中学校 第1学年 「そこに僕はいた」(障害者) P9
第2学年 「小さな労働者」(子ども) P11

社会科

- 小学校 第3学年 「スーパーマーケットをたんけんしよう」(障害者) P13
第5学年 「公害をふせぐための努力と対策」(人権一般・環境) P15
第6学年 「水平社運動」(同和問題) P18
中学校 第2学年 「日本の人口の変化と特色」(高齢者) P24
第2学年 「四民平等」(同和問題) P27
第3学年 「現代社会に残る差別」(同和問題) P32

算数・数学科

- 小学校 第5学年 「ご石の数え方」(障害者) P37
中学校 第2学年 「点字で数学しよう」(障害者) P40

理科

- 小学校 第5学年 「動物のたんじょう(ヒトのたんじょう)」(人権一般・生命尊重) P44
中学校 第3学年 「生物のふえかた」(人権一般・個人の尊重) P47

生活科

- 小学校 第2学年 「もっとまちをしりたいね」(障害者) P51

英語科

- 中学校 第2学年 「Program 4 With Love and with Joy part 1」(子ども) P53
第3学年 「Unit 1 Let's Learn Braille part 3」(障害者) P55



小学校国語科 第1学年 外国人

- 1 教材名 じゃんけん（東京書籍）
- 2 本時の目標
インドネシアのじゃんけんについて、勝ち負けの関係を読み取り、理由を想像することができる。
- 3 人権教育の視点
外国の文化、宗教、生活習慣における多様性に気付かせたい。（感受性）
- 4 生かしたい児童
A：保護者が外国人であるAは、日ごろから日本とは異なる外国の文化等についてよく話しているので、外国のじゃんけんについて知っていることを紹介してもらおう。また、文化等の違いがあるAに自信をもたせるとともに、他の児童にも文化の多様性に気付かせ、お互いの文化を大切にしていこうとする心情を育てたい。
- 5 展開例（略案）

人権教育上の配慮

学 習 内 容 ・ 活 動	資 料	指 導 上 の 留 意 点
1 足じゃんけんやあいこじゃんけんをする。 2 学習のめあてを知る。 インドネシアのじゃんけんについて読み取り、勝ち負けの関係を話し合ひましょう。		<ul style="list-style-type: none"> ・ 前時までに学習したじゃんけんのきまりや意味を確認し、勝ち負けにこだわらず楽しく活動させたい。 ・ A 児に、外国のじゃんけんについて知っていることを紹介させることにより、外国の文化についての関心を高める。
3 インドネシアのじゃんけんについて読み取る。 ・手の形を表しているもの ・勝ち負けの仕組み	世界地図 【資料1】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本とインドネシアの位置を世界地図で確認する。 ・ 手の形とそれぞれが表しているものを挿絵と対照させながら読み取るようにする。
4 勝ち負けが決まる理由について、想像した事を話し合う。		一人一人の考えを引き出し、よさを認め合えるよう少人数で話し合うようにする。
5 勝ち負けの仕組みを確認し、インドネシアのじゃんけんをして楽しむ。	勝ち負けの仕組み図 【資料2】 【資料3】 【資料4】	外国のじゃんけんに親しむ活動を通して日本のじゃんけんと比べながら、他の国のじゃんけんを調べたり自分でじゃんけんを作ったりする楽しさを味わわせるとともに外国の文化等の多様性にも気付かせる。

6 資料

【資料1】

インドネシアのじゃんけん

(<http://www.e-birdnet.com> 世界のじゃんけん)

ぞう	人	あり
<p>人にかち、 ありにまける。</p> <p>ありが耳に入ったら、ぞう はかなわないから</p>	<p>ありにかち、 ぞうにまける。</p> <p>ぞうは人より大きいから</p>	<p>ぞうにかち、 人にまける。</p> <p>人はありより大きいから</p>
<p>親ゆびを出す。</p>	<p>人さしゆびを 出す。</p>	<p>小ゆびを出す。</p>

【資料2】

シンガポールのじゃんけん

(<http://www.e-birdnet.com> 世界のじゃんけん)

石・りゅう・水

石 > りゅう . . . 石でりゅうをやっつけられる。

りゅう > 水 . . . りゅうは水をのむ。

水 > 石 . . . 石は水にしずむ。

【資料3】・「英語のできる国際交流アイデア集 英語であそぼう」

(岩崎書店) 田中ひろし著

・ <http://www.imajinsha.co.jp> 世界のじゃんけん

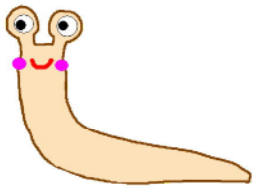
【資料4】

じゃんけんあそびは、むかし、中国から日本につたわったあそびがもとになっています。ぐう・ちょき・ぱあの三つのくみあわせは、それぞれ、石・はさみ・かみをあらわします。このゆびがたのもとのかたちは、「むしけん(虫拳)」のかえる・へび・なめくじのゆびがたにあります。これは、日本どくとくのものです。

(参考文献 「あそびのずかん2」 あかね書房 竹井史郎著)

むしけん

ゆびを出し、へびとかえるとなめくじで、かちまけをきめます。

なめくじ	へび	かえる
		
へびにかち、かえるにまける。	かえるにかち、なめくじにまける。	なめくじにかち、へびにまける。
小ゆびを出す。	人さしゆびを出す。	親ゆびを出す。

小学校国語科 第3学年 障害者

- 1 教材名 もうどう犬の訓練（東京書籍）
- 2 本時の目標
目の不自由な人の暮らしや盲導犬について関心をもち、さらに知りたいことを考えたりまとめたりすることができる。
- 3 人権教育の視点
目隠し歩行（ブラインドウォーク）を行うことにより、目の不自由な人たちの気持ちを考え、相手の立場に立った行動をすることの大切さに気付かせたい。（感受性）
- 4 生かしたい児童
A：A児は、総合的な学習の時間に盲導犬について調べたため、A児に盲導犬について知っていることを発表させることによって、全員に盲導犬や目の不自由な人たちに対する関心を高めさせたい。
- 5 展開例（略案）

人権教育上の配慮

学 習 内 容 ・ 活 動	資 料	指 導 上 の 留 意 点
1 ブラインドウォークを行い、気付いたことや感想を発表する。 ・一人で目隠しをして ・二人一組で交代しながら	目隠しをするもの（アイマスク等） 【ワークシート】	ブラインドウォークを単元の導入時（第1時間目）に取り入れることにより、障害のある人への関心を高めさせたい。 ・ 教室内の安全を確保しながら、短い時間で行う。
2 盲導犬について話し合う。		A児に、盲導犬について知っていることを発表させ、児童の関心を高めたい。
3 盲導犬の訓練について、知りたいことをまとめる。	インターネットの資料等	・ 題名や単元冒頭の文、写真等から教材文の内容を予想し、盲導犬や目の不自由な人の暮らしについて興味をもっていることや知りたいことを自分なりにまとめるようにする。
4 単元の学習計画を立てる。		盲導犬の訓練について読み取り、目の不自由な人の暮らし、心の通い合いや社会全体のよりよい暮らしについても考えさせていきたい。 ・ 盲導犬になるまでのことが、どういう順序で書かれているのかについてもとらえていけるようにする。

もうどう犬の訓練

年 組
名前 ()

- 1 ブラインドウォークをして、どんなことに気がつきましたか。

- 2 もうどう犬について、知っていることを書きましよう。

- 3 もうどう犬について、もっと知りたいことや調べてみたいことを書きましよう。

中学校国語科 第1学年 障害者

- 1 教材名 そこに僕はいた（東京書籍）
- 2 本時の目標

文章の展開を確かめ、登場人物（「僕」と「あーちゃん」）の気持ちの変化をとらえて説明することができる。
- 3 人権教育の視点

「僕」の「あーちゃん」に対するとらえ方や心情の変化を読み取り、また、「あーちゃん」の心情の変化を考えることによって、お互いに相手を思いやる心情を育成する。（感受性）
- 4 生かしたい生徒

A：普段から読書に親しみ人の気持ちに共感できる生徒Aは、ロールプレイングの場面で登場人物の立場に立った率直な意見を述べるができると思われる。また、Aのグループの活動を学級内で発表させ、教材の読みを深めるきっかけとしたい。
- 5 展開例（略案）

人権教育上の配慮

学 習 内 容 ・ 活 動	資 料	指 導 上 の 留 意 点
1 本時の学習課題を確認する。 「僕」と「あーちゃん」の気持ちの交流を読み取ろう。		<ul style="list-style-type: none"> ・ 第2の場面から第4の場面を通読し、学習課題を確認する。（本教材の指導の3時間目とする。）
2 前時に探しておいた「僕」の「あーちゃん」に対する心情が表れている箇所を発表する。	【ワークシート1】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 場面の变化に従って、発表させる。
3 それぞれの場面の「僕」の心情をまとめ、心情が大きく変化した所を確認する。		<ul style="list-style-type: none"> ・ 「僕はほんとうに自然に手を差し出し…」の表現に注目させる。
4 「あーちゃん」の「僕」に対する心情や行動の変化をまとめる。		<p style="margin-left: 2em;">第2、第4の場面で「あーちゃん」の気持ちも変化していることを確認する。</p>
5 第4の場面の「僕」と「あーちゃん」の心の交流をまとめる。 (1) 「僕」と「あーちゃん」の心情を想像して、自分の言葉で書く。 (2) 二人組になり、「僕」と「あーちゃん」の動作を再現しながら、考えた言葉を発表する。 (3) 代表生徒が全体の前で、ロールプレイングをし、感想を述べる。	【ワークシート2】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「僕」と「あーちゃん」の立場に立って自由に考えさせる。 ロールプレイングをすることで、「僕」と「あーちゃん」の気持ちの交流をより深く感じ取らせる。 生かしたい生徒Aの発表などを通して感じたことを率直に発表させる。
6 次時の学習課題を確認する。		

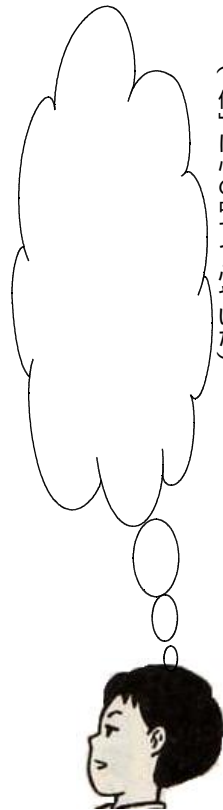
【ワークシート1】

二、「僕」の気持ちが大きく変化したところを探そう。
 (場面の) (と) 場面

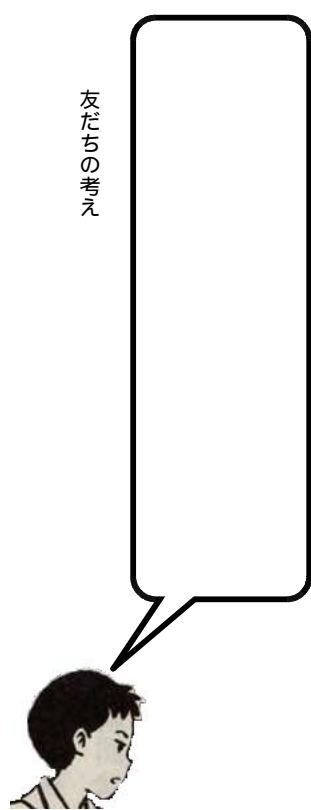
二の場面 山の斜面に基地を置いて山に登る。	「あーちやん」を置いて山に登る。	「あーちやん」の「僕」に対する気持ち「僕」の「あーちやん」に対する気持ちと「僕」に対する態度と心情
三の場面 石投げ遊びの場面	目に石が刺さった。	「あーちやん」の「僕」に対する態度と心情
四の場面 田んぼでかえるとりをした	「あーちやん」が深みにはまる。	「あーちやん」の「僕」に対する態度と心情
	「ありがとう」と	「あーちやん」の「僕」に対する態度と心情
		「あーちやん」の「僕」に対する態度と心情

「そこに僕はいた」学習プリント
 一年組(番)
 「あーちやん」の「僕」に対する気持ち「僕」の「あーちやん」に対する態度と「僕」に対する態度と心情

【ワークシート2】

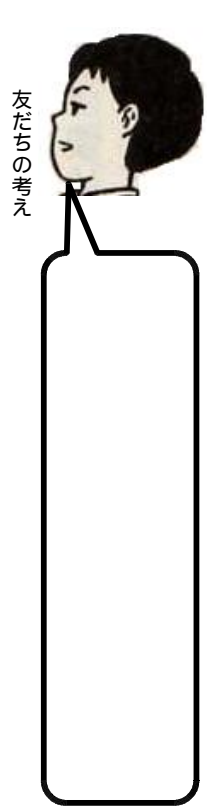


あーちゃんがそう言ったので、僕はただ照れるしかなかったが、あーちゃんそんな言葉を聞くのは初めてのこととてもうれしかったのである。
 (「僕」は心の中でつぶやいた)



友だちの考え

「あーちやん」
 すると不思議なことにあーちゃんの手が僕の手を握ってきたのだ。僕は力任せに彼の体を引きずり上げるのだった。



友だちの考え

「そこに僕はいた」学習プリント
 一年組(番)
 三、次の場面の「僕」と「あーちゃん」の言葉を考え、吹き出しに書いてみよう。
 田んぼは通過した台風のせいであーちゃんに吹き出しに書いてみよう。
 あーちゃんはそこに足を取られたのである。ちよつとしたくぼみがあって、
 「僕」

中学校国語科 第2学年 子ども

- 1 教材名 小さな労働者（東京書籍）
- 2 本時の目標
 伝えたい事実が相手に効果的に伝わるように、根拠を明らかにしながら、論理の展開を工夫して書くことができる。
- 3 人権教育の視点
 現代社会で起きている子どもの人権侵害に関する問題に関心を持ち、子どもの人権が守られるような社会を築こうとする心情を育てる。（感受性）
- 4 生かしたい生徒
 A：昨年、総合的な学習の時間に「ユニセフ」についての調べ学習をした生徒Aは「子どもの権利条約」についての知識が豊富である。「子どもの権利条約」の内容を取り上げるときに発言させたい。
- 5 展開例（略案）

人権教育上の配慮

学 習 内 容 ・ 活 動	資 料	指 導 上 の 留 意 点
<p>1 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>現代社会に存在する「小さな労働者」のフォトストーリーを書こう。</p> </div> <p>2 「子どもの権利条約」の資料を読み、写真の子どもたちの状況や問題点を整理するとともに、解決策を考え構成に生かす。</p> <p>3 用意してきた写真の中から、使う写真を選び、写真の説明や参考となる情報をまとめて、ストーリーの構成を考える。</p> <p>4 フォトストーリーを書く。</p> <p>5 できあがったフォトストーリーは教室前面の黒板に掲示し、読み合い、感想カードを交換する。</p> <p>6 本時の感想をまとめる。</p>	<p>【資料】 子どもの権利条約 第28条 第32条</p> <p>【ワークシート】</p> <p>感想カード</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現代社会にも存在する「小さな労働者」のフォトストーリーを、用意した写真を使って書くことを確認する。 「子どもの権利条約」の資料を読ませ、Aの総合的な学習の結果などを発表させ、子どもの権利の内容を再確認する。 ・ 5W1Hを意識して考えさせる。また、子どもたちの年齢・労働内容・労働条件等は具体的に書かせる。 ・ 不当な労働に苦しむ子どもが社会に対して訴えたいことを想像させながら書かせる。 感想カードには、子どもの権利を守るための考えや、現実を改善するための考えも書くようにする。

6 資料 子どもの権利条約から

(財)日本ユニセフ協会 <http://www.unicef.or.jp/kenri.syoyaku.htm>

資料活用に当たって 教材の内容から第28条と第32条を取り上げます。他の条文を参考にすることも考えられます。

【ワークシート】

現代版「フォトストーリー」

ここに写真を貼る

- 現代版「フォトストーリー」を作ろう (二年組)(番)
- 作り方・新聞や雑誌またはインターネットを使って、現代社会でも起こっている子どもの労働問題についての写真を探す。見つけれなかったら、教科書の六枚の写真の中から、選んでもよい。
- ・写真についている説明や写真からわかる情報をまとめておく。
 - ・写真の子どもの気持ちになって、自分の感想を書いてよい。
 - ・記入欄のどこかに写真を貼り、空いているスペースに文章を書く。
- 条件
- ・小学校高学年の児童を対象に書く。
 - ・児童労働の実態を知らせるための文章にする。
 - ・三〇〇字から四〇〇字程度で書く。

小学校社会科 第3学年 障害者

- 1 教材名 スーパーマーケットをたんけんしよう
- 2 本時の目標
お店の人へのインタビューを通して、スーパーマーケットではお客の立場に立ったさまざまな工夫をしていることについて調べることができる。
- 3 人権教育の視点
スーパーマーケットでは、障害者が利用しやすいように工夫していることに気付くことができる。(判断力)
- 4 生かしたい児童
A：恥ずかしがらずに自分の考えをたくさん表現することができる。それを賞賛することで、ねらいにそった質問への意欲をさらに高めるようにしたい。
- 5 展開例(略案)

人権教育上の配慮

学 習 内 容・ 活 動	資 料	指 導 上 の 留 意 点
<p>1 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>スーパーマーケットでは、いろいろな立場のお客さんが利用しやすいように、どのような工夫をしているのでしょうか。</p> </div>		<ul style="list-style-type: none"> ・ どのようなことを見学したりインタビューしたりするのかを前時に考えておくようにする。
<p>2 スーパーマーケットを見学し、お店で工夫していることや、疑問に思ったことをメモする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ たくさん売るための工夫 ・ お客さんを集める工夫 ・ 施設の工夫 ・ 仕事の工夫 ・ 品物がどこから来るのか 等 	【ワークシート】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの自由な視点や思いを大切にしながら見学させるようにするが、障害者の立場からも見学するよう指示する。 ・ 見学やインタビューの際には、お店の人の仕事や他のお客さんの迷惑にならないよう気をつけるようにする。
<p>3 店で働く人へのインタビューを通して、スーパーマーケットの工夫について調べる。</p> <p><予想されるインタビューの相手></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 店長 ・ 各売り場担当者 ・ レジ担当者 ・ 駐車場担当者 ・ ガードマン ・ 清掃担当者 等 <p><予想されるインタビューの内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ レジの人数 ・ 通路の広さ ・ 見やすい表示 ・ トイレの広さ ・ 陳列の仕方 ・ 駐車場の位置 等 	【ワークシート】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習活動2のメモも参考にしてインタビューを行うようにする。 障害のある人も利用しやすいようにどのような工夫をしているかについても、インタビューすることを確認する。 ・ スーパーマーケットでは、たくさんの人が役割をもって仕事をしていることや、利用する様々な人のことを考え、工夫していることに気付かせる。 質問の内容を捉え、賞賛したり助言したりする。 ・ インタビューする際には、礼儀正しく行わせる。

【ワークシート】

スーパーマーケットのくふう

3年組 氏名

見学して気がついたこと（くふうやぎもん）を絵やことばで書きましょう。

その中で、インタビューをしたいことには をつけておきましょう。

--

お店の人にインタビューしてわかったことを、絵やことばで書きましょう。

その中で、障^{しょうがい}害のある人のことを考えてくふうしていることに をつけましょう。

インタビューした人	どなんくふうをしているの

小学校社会科 第5学年 人権一般（環境）

1 題材名 公害を防ぐための努力と対策

2 本時の目標

公害が人間の健康や生命を脅かす恐ろしいものであることに気付き、生活環境を守ることの大切さについて考えることができる。

3 人権教育の視点

- ・ 公害は、人権問題にかかわる重要な問題であることに気付くことができる。（知性）
- ・ 公害に苦しみながらも問題解決に取り組んでいる人々の努力に共感することができる。（感受性）
- ・ 公害を自分たちの問題として捉え、環境問題について考えることができる。（実践力）

4 生かしたい児童

A：友達の意見をよく聞き、よりよい考えを導き出すことができる。グループの話し合い活動において友達の意見のよさを生かしている様子を捉え、賞賛し、児童全員に生かしていきたい。

B：自分なりの考えをたくさん表現できる。それを賞賛することでさらに意欲をもたせられるようにしたい。また、グループで意見をまとめるときには、自分の意見ばかりでなく、友達の意見にも耳を傾けられるように助言したい。

5 展開例（略案）

人権教育上の配慮

学 習 内 容 ・ 活 動	資 料	指 導 上 の 留 意 点
<p>1 本時の学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>水俣病の問題を解決するために工場や県、国はどのような対策をとったのだろう。</p> <p>また、水俣病患者たちはどうなったのだろう。</p> </div>	【ワークシート】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水俣病の発生原因や経過の年表を掲示しておき、前時の学習内容を想起しながら、本時の学習課題をつかめるようにする。
<p>2 水俣病の問題を解決するための工場や県、国の対策について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 工場～仕切網の設置、ヘドロの埋め立て、補償金 ・ 国～水俣病研究センターでの研究、患者の治療 	【ワークシート】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水俣病が発生してからの国や県の対策の流れとして捉えられるよう、前時で使用した年表を参考にするように助言する。 ・ 工場や国、県の責任についても押さえられるよう、ワークシートの工夫をする。

<p>3 水俣病患者のそれからの様子について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者～胎児性水俣病患者、リハビリを続けている元の健康な体には戻らない 	<p>写真 ビデオ 【ワークシート】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 公害病と認定されるまでの経緯や、リハビリをして何とか回復しようとしている姿が読みとれるような写真や資料を提示する。 写真やビデオの視聴により、公害によって水俣病患者が受けた苦しみや、身体の機能回復のためにリハビリに努めている姿に共感させ、公害は人権にかかわる重要な問題であることに気付かせる。
<p>4 国や工場の対応や水俣病患者のその後の取り組みから、水俣病が私たちに教えたものや、私たちがこれからやらねばならないことについて考える。</p> <p><水俣病が私たちに教えたもの></p> <ul style="list-style-type: none"> 公害の恐ろしさ 環境を守ることの大切さ <p><私たちがこれからやらねばならないこと></p>	<p>【ワークシート】</p>	<p>公害を防ぎ、生活環境を守ることの大切さについて自分なりの言葉で表現できるよう支援する。</p> <p>行政の取組だけでなく、自分たち一人一人の環境問題への取組が重要であることに気付き、自分の考えをまとめられるようにする。</p>
<p>5 水俣病が私たちに教えたものをもとに、私たちがこれからやらねばならないことについてグループで話し合い、発表する。</p>	<p>【ワークシート】</p>	<p>公害のもたらしたマイナス面だけでなく、水俣病患者が病気を治そうとがんばっている姿から、特に、自分たちがやらねばならないことについて話し合えるよう支援する。</p> <p>他の人、他のグループの意見に耳を傾け、自分たちの考えと同じところや違うところを互いに認め合ったり、自分の考えに生かしていったりできるよう支援する。</p>

【ワークシート】

公害を防ぐための努力と対策

5年 組 氏名(_____)

学習課題

水俣病の問題を解決するために国、県や工場はどのような対策を取ったのだろう。
また、水俣病^{かんじゃ}患者たちはどうなったのだろう。

- 1 水俣病の問題解決のために工場や国がとった対策について調べよう。

国・県

工場

- 2 水俣病患者のそれからの様子について調べよう。

- 3 水俣病が私たちに教えたものは何か、私たちがこれからやらねばならないことはどんなことか、考えを書こう。

自分の考え

みんなの考え

小学校社会科 第6学年 同和問題

1 題材名 水平社運動

2 本時の目標

水平社運動について調べることにより、全国水平社設立の目的や経過について理解し、差別の不合理性に対して立ち上がった人々の行動について考えることができる。

3 人権教育の視点

- ・ 大正時代の差別の様子から解放令後も様々な不当な差別が残っていたことや、水平社運動が、差別をいっさい許さず自らの力で差別と迫害をはねのけようとする人権にかかわる運動であることを認識することができる。(知性・判断力)
- ・ 差別を受けてきた人々の願いや気持ち、差別解消に立ち向かう山田少年の考えや決意に共感することができる。(感受性)
- ・ 水平社運動を起こした人々の願いや気持ちを受け、自分の生き方に生かすことができる。(実践力)

4 生かしたい児童

A：何事にも意欲的に取り組み、真面目な学習態度である。話し合い活動においても、自分の考えを積極的に発言しながら、友達の考えを尊重し上手にまとめることができる。本時では、グループの成員が、水平社運動を起こした人々の願いや気持ちについてお互いが考えていることを認め合えるよう、A児を生かして考えをまとめるように支援したい。

B：学習面では大変積極的に理解力も高い。生活面ではリーダー的な存在であるが、やや自分中心的な行動が見られることもある。本時では差別をされてきた人々の思いや願いに共感することにより、相手の立場やお互いの考えを認め合える力をつけていきたい。また、自分の意見だけでなく友達の発表にも耳を傾け、お互いに認め合える態度を育てたい。

5 展開例(略案)

人権教育上の配慮

学 習 内 容 ・ 活 動	資 料	指 導 上 の 留 意 点
<p>1 本時の学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>全国水平社の創立と差別をなくすために立ち上がった人々について調べよう。</p> </div>	<p>【ワークシート】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前時で学習した民主主義運動の内容を振り返り、本時の学習課題を確認する。
<p>2 解放令後も様々な差別が残っていたことを確認する。</p>	<p>【資料1】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料「大正時代の差別の様子」を示し、解放令が出された後も様々な差別が残っていたことを理解できるようにする。

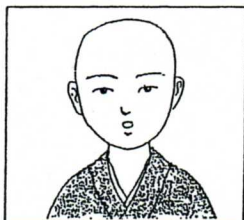
<p>3 水平社の創立について調べる。</p>	<p>【資料2】 【ワークシート】</p>	<p>差別を受けてきた人々が団結し、自らの力で差別をなくそうと立ち上がった事実を押さえる。</p>
<p>4 「全国水平社宣言」「山田孝野次郎少年のさけび」を読んで、水平社運動を起こした人々や山田少年の願いや気持ちを考え、グループで話し合う。</p>	<p>【資料3】 【資料4】 【ワークシート】</p>	<p>資料を読み、運動を起こした人々や山田少年の差別解消への強い願いや勇気、団結力などを共感的に捉えられるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個人で考え、ワークシートにまとめた後、グループで話し合うようにする。 <p>自分の考えとの相違を捉えながら話し合うようにする。また、理由を聞くことにより自分と違う意見も認められるようにする。</p> <p>宣言文は、差別されてきた人々にのみ出されたものではなく、すべての人々に対して出されたものであることを捉えさせる。さらに、宣言文に込められた思いを共感的に読み取り、背景について教師が補足することにより、現在の自分たちの生活に生かしていこうとする意欲を高める。</p>
<p>5 グループで話し合ったことを発表する。</p>		<p>ワークシートの記述やグループの話し合いの様子を見取り、意図的に多様な意見を引き出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 最後に、水平社運動が全国に広がっていったことを教師が補足する。

6 資料

【資料1】

大正時代に差別されつづけてきた人々の生活の様子と差別の例

ア 学校では…



教室のうしろのすみに、ほかの子どもたちとは机を、はなしてならばされました。また、いじめられて、悲しくて、先生に話しても、「身分がちがうんだからあきらめろ。」と言われ、相談にもものってもらえませんでした。

イ ある警察の署長から、県へこんな報告がありました。



…近頃、米の値段があがったが、この町にはうえ死にするような者は見当たりません。さらに低い身分にされていた者たちの中には、うえ死にしそうな者もいますが、少しの人数だから気にする必要はありません。

ウ 仕事は…



一日かぎりやとわれたり、一時のまにあわせてやとわれるなど、不安定な仕事や危険な仕事が多かったです。

エ 家や結婚は…



さらに低い身分にされていたことがわかると、家を貸してもらえず、今までの場所に住むしかありませんでした。また、結婚も自由にはできませんでした。

オ 栃木県では…



A村の浴場では、わたしたちを^{にゅうよく}入浴させませんでした。そして、わたしたちの入る浴場とほかの人たちが入る浴場とを別々につくろうとしたので、これは差別だといってとても怒りました。

(出典 人権教育資料「なかま」鹿沼市教育委員会)

【資料 2】

全国水平社の創立

1918年（大正7年）の米騒動をきっかけに、差別を受け続けてきた人々は、自分たち自身の力で差別をなくすために立ち上がるようになりました。今までとちがって、人間として生きる権利を主張することによって、解放に立ち上がったのです。

1922年（大正11年）3月3日、京都のおかざき公会堂をめざして、全国からぞくぞくと仲間が集まり、会場は約3000人の人々でいっぱいになりました。

「300万人の絶対解放」「全国水平社創立大会」などと書かれた会場は、「解放」「団結」「自由」などといかりをこめた旗でうめつくされ、熱気につつまれました。中には、「こんなにも差別に苦しんでいる仲間がいたのか。」と感げきのあまり、声を出して泣き出すものもいました。

「全国のが仲間たちよ、団結せよ。」に始まり、「長い間、いじめられてきた兄弟よ。」とよびかけて、「……ほこりをもった人間の血は、まだ、失わなかったのだ。…ぎせい者が、これまでの苦しみをなげ返すときが来たのだ。」とうったえ、「水平社は、こうして生まれた。」「人の世に熱あれ、人間に光あれ。」と感動をこめて結んでいます。

この宣言は、日本最初の人権宣言であり、世界にほこるべき大宣言でもあります。これは、まさに、差別を受け続けてきた人々が団結して解放に立ち向かう出発であったわけです。

（出典 同和教育指導資料「直接的指導資料集」栃木県教育委員会義務教育課 一部改作）

【資料3】

ぜんこくすいへいしやせんげん 全国水平社宣言（やさしくなおしたもの）

長い間、いじめられてきた兄弟よ。

わたしたちの祖先は、のどから手が出るほど、自由と平等にあこがれていた。

しかし、ひきょうな身分制度のぎせいにされ、人のいやがる仕事を与えられ、その仕事に命をささげてきたのだ。けもの皮をはく報しゅうとして、生き生きと生きる人間の心をふみにじられ、その上、くだらない、いやしいとばかにされ、つばをはきかけられてきたのだ。それでも、ほこりをもった人間の血は、まだ、失われていなかったのだ。

そうだ、今、わたしたちは、この血を受けついで、人間を取りもどす時代をむかえたのだ。ぎせい者が、これまでの苦しみを投げ返すときがきたのだ。わたしたちが差別されてきた歴史をほこらしく思うときがやってきたのだ。

わたしたちは、もう絶対におくびょうになって、祖先をはずかしく思ったり、自分をいやしめたりしてはいけない。

この世の中を生きていくことが、どんなにつらいことが、一番よく知っているわたしたちは、暗く、苦しい世に、心から人間のほこりを、新しい光を、熱く求めようではないか。

水平社はこうして生まれた。

人の世に熱あれ、人間に光あれ。

大正11年（1922年）3月3日 全国水平社創立大会

（出典 人権教育資料「なかま」鹿沼市教育委員会）

【資料4】

このじろう 山田孝野次郎少年のさけび

わたしは、近所の人たちや学校の先生のお話を何度も聞きました。その人たちは、必ず平等が必要であると話します。人と人とを差別してはならないと言って、差別している人々をせめます。

そして、わたしたちのことを本当に理解しているかのように、あるいは差別する気は少しもないように言われます。

しかし、先生たちでさえ、わたし達を見る目はなんと冷たいものでしょうか。今、わたしたちは泣いているときではありません。おとなも子どもも団結し、勇気をもって立ち上がってください。

そして、この悲しみの原因をうちやぶってください。差別のない、光りがやく新しい世の中にするためにたたかきましょう。

（出典 人権教育資料「なかま」鹿沼市教育委員会）

【ワークシート】

水 平 社 運 動

6年 組 氏名(_____)

学習課題

全国水平社の^{そくりつ}創立と差別をなくすために立ち上がった人々について調べよう。

1 , 全国水平社の創立について調べよう。

いつ	
どこで	
どんな人によって	
何のために創立したか	

2 , 「全国水平社創立宣言」「山田孝野次郎少年のさけび」を読んで、水平社運動を起こした人々や山田少年の願いや気持ちについて考えよう。

水平社運動を起こした人々や山田少年は、どんな思いや願いからこのようなことを行ったのでしょうか。

「全国水平社創立宣言」「山田孝野次郎少年のさけび」を読んで、みなさんは、人々の思いをどう受けとめましたか。

中学校社会科 第2学年（地理的分野） 高齢者

1 題材名 日本の人口の変化と特色

2 本時の目標

日本の人口の特徴を他の国と比較しながら理解するとともに、人口の高齢化や少子化に伴う社会の課題について考えることができる。

3 人権教育の視点

高齢者が生きがいをもって生活していける社会を実現していくために解決すべき課題について考える（判断力）とともに、これまで社会を支えてきた高齢者への、敬意と感謝の気持ちを大切にしたい。（感受性）

4 生かしたい生徒

A：普段の生活の中で、やや自己中心的な傾向が見られる。本時では、高齢者の立場に立って考えることで、相手の立場を尊重する気持ちを培っていきたい。

5 展開例（略案）

人権教育上の配慮

学 習 内 容 ・ 活 動	資 料	指 導 上 の 留 意 点
<p>1 各国の人口ピラミッドから、人口構成に違いがあることを読み取る。</p> <p>2 本時の課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p style="text-align: center;">日本の人口の特色を調べよう</p> </div> <p>3 日本の人口の変化の様子を調べ、変化している理由について考える。</p> <p>4 日本の人口構成と他の国の人口構成を比較する。</p>	<p>各国の人口ピラミッド 【ワークシート】</p> <p>【資料1】 日本の年代別人口ピラミッド おもな国の平均寿命</p> <p>【資料2】 各国の人口ピラミッド 老年人口率の推移</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国によって人口構成に違いがあることを知り、本時の学習に関心がもてるようにする。 ・ 年代別の人口ピラミッドから人口の変化を読み取るようにさせる。 ・ 少子高齢化をとらえさせ、それが進行している理由についても考えさせる。 ・ 各国の人口ピラミッドの比較から、発展途上国は富士山型で先進国はつぼ型であること、日本も富士山型からつぼ型に変化していることをとらえさせる。 ・ 資料から日本は他国と比べて急激に高齢化が進んでいることに気付かせる。

<p>5 高齢化にともなう社会の課題やその解決策について考える。</p> <p>(1) ここまでの学習を参考に、個人で考え、ワークシートにまとめる。</p> <p>(2) 自分の考えをもとに、グループで話し合う。</p> <p>6 高齢化社会の中で、自分たちのできることにについて話し合う。</p>	<p>【ワークシート】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートに自分の考えを記入した後、グループごとに、話し合わせるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> 高齢者が増えることを生徒がマイナスイメージでとらえることのないように十分配慮し、これまで社会を支えてきた高齢者に敬意と感謝の気持ちをもたせる。 高齢者が、生きがいをもち、安心して生活できる社会を実現する必要があることに気付かせ、そのための対策について考えさせる。 各グループから、話し合ったことについての発表を聞く。 <ul style="list-style-type: none"> 高齢者とともに生きる社会の一員として、自分にできることは何かを考えさせる。
--	-----------------	--

6 資料

- 【資料 1】 総務省ホームページ <http://www.stat.go.jp/index.htm>
(日本の人口についての資料)
- 【資料 2】 統計データポータルサイト <http://portal.stat.go.jp/>
(世界の人口についての資料)

日本の人口の特色を調べよう

1 日本の人口はどのように変化してきているだろう。

[]

2 日本の人口構成を他の国と比べてみよう。

つぼ型の国 ()

富士山型の国 ()

2つに分けた国々をみて、どのようなことがわかるだろう。

[]

3 高齢化が進む中での、社会の課題は何だろうか。

[]

4 高齢化社会が進む中で、高齢者に対して自分にできることは何だろう。

[]

中学校社会科 第2学年（歴史的分野） 同和問題

1 題材名 四民平等

2 本時の目標

新政府が行った四民平等の政策について調べ、身分制度が廃止された一方で、依然として差別が解消しなかったなどの問題点があったことに気付くとともに、解放令が差別をなくす運動の大きなよりどころになったという意義についても考えることができる。

3 人権教育の視点

明治政府により江戸時代の身分制度は廃止され、えた、ひにんという身分も解放令により、平民として平等となったことを理解させるとともに、政府が差別解消のための積極的な政策を実施しなかったことや、人々の意識の問題などから、現実には差別が残ってしまったことを捉えさせたい。（知性） また、そのような中で、差別をなくす運動をおこし、人権獲得のための努力をしていった行動から、解放令の意義についても考えられるようにしていきたい。（判断力）

4 生かしたい生徒

A：自分の思いや考えを素直に発表することができる。話し合いの中でAの考えのよさを取り上げることで、他の生徒の意見についても引き出すようにしていきたい。

5 展開例（略案）

人権教育上の配慮

学 習 内 容 ・ 活 動	資 料	指 導 上 の 留 意 点
<p>1 本時の学習課題をつかむ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>明治時代になり、江戸時代の身分制度はどのように変わったのだろうか。</p> </div>	<p>【資料1】 【ワークシート】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「天地のはかりにかけた人民は上下の別なき図」と書かれており、何を訴えている絵であるか考えさせる。 ・ 江戸時代の身分制度との違いに気付かせ、課題に関心がもてるようにする。
<p>2 課題について調べる。</p> <p>(1) 江戸時代の身分は、明治時代になってどのように変わったか。</p> <p>(2) どんな点に問題があったか。</p>	<p>【資料2】 【資料3】 【資料4】 【資料5】</p>	<p>四民平等の政策により、封建的な身分制度が廃止され、法的に平等が認められたことをおさえるようにする。</p> <p>えた・ひにん身分とされてきた人々は、解放令により、制度上の平等を得たにもかかわらず、実生活の上では差別が続いたことを理解させる。</p>

<p>3 【資料4】、【資料5】の記述を参考に、差別が残った理由について考え、発表する。</p>	<p>【資料4】 【資料5】</p>	<p>資料4・5を関連付けて読み取らせ、差別が続いた理由として、国が具体的な援助政策を行わなかったことや、人々の差別意識を変えることが難しかったことに気付かせたい。</p>
<p>4 解放令の発布後の人々の行動から、解放令の意義について考える。</p>	<p>【資料6】</p>	<p>差別を受けてきた人たちが差別解消に向けて動き出し、解放令がそのよりどころとなったという意義をおさえる。</p>
<p>5 本時の学習をして、わかったことや考えたことを書く。</p>	<p>【ワークシート】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 作業用紙の書き込みから、生徒の気持ちや考えをつかみ、今後の働きかけに生かすようにする。 一人一人が差別意識をもたないようにすることで、差別がなくなっていくことに気付かせたい。

6 資料

【資料1】天地のはかり



天地のはかり

明治時代中ごろの書物のさし絵で、「天地のはかりにかけた人民は上下の別なき図」と書かれており、人々はみな平等であることをあらわしている。

(「中学生の社会科 歴史 日本の歩みと世界」日本文教出版より 国立国会図書館所蔵)

【資料2】 皇族・華族，士族，平民の割合（1872年 明治5年）

全人口約3300万人	
皇族・華族	0.01%
平民	93.57%
士族	5.54%
僧・神官	0.88%

【資料3】 解放令

明治4年の解放令 1871.8.28 太政官布告
布告

えた・ひにんなどの名称が廃止されたので、これからは身分・職業ともに平民と同様であるべきこと。

同じく県へ

えた・ひにんの名称が廃止されたので、平民の戸籍に編入して身分・職業ともに同一になるよう取り扱うべきである。もっとも、(差別されてきた人達に対して) 地租その他の負担を免除してきた習慣があれば、それを改める再調査をして、大蔵省へうかがいでるべきこと。

(同和教育資料「明るい展望のもてる指導の工夫」 栃木県教育委員会)

【資料4】 解放令布告前の政府内での議論

今まで幕府や藩の政治によって、ひどい生活を我慢させられてきた被差別部落の人たちの身分を解放しなくてはならないが、差別身分の名称をなくすだけでは、差別は続いてしまうだろう。

差別されてきた人達に、新しい職業に就くための技術を習得させ、そのあと新しい仕事や生活のための補助金を貸したりして、力をつけてから世の中に送り出すべきだ。

差別がなくなるためには、是非そうすべきだ……。

土佐藩 大江卓造

(同和教育資料「明るい展望のもてる指導の工夫」 栃木県教育委員会)

【資料5】 学校へ行きたい

私たちは、村の学校が明治6年（1873年）にできたので、何度も「入学させてください」と、お願いいたしました。しかし、村の役場からは「村の人々が、古い考えをもっているので、入学しない方がよい。」とってきました。

時代が変わり、みんなが平等になったというのに、私たちの子どもだけが、勉強することができないというのは、承知できません。学校に行けないために、字を読むこともできず、知らず知らずのうちに罪をおかし、人間としてどう生きていっていいのかもわからず、動物以下になってしまうでしょう。これでは、いつになったら貧しい生活からぬけだすことができるでしょう。

以上のことをよくお考えくださって、私どもの子どもが入学できるように、お願いいたします。

明治11年（1878年）12月25日

長野県むれ村代表

長野県 殿

（人権教育資料「仲間」鹿沼市教育委員会）

【資料6】 差別の解消に立ち上がった人々

兵庫県のある村では、これまで神社の祭礼に際して、えた・ひにん身分とされてきた人たちは、祭りの先頭にたつて、太鼓をになう義務だけを押しつけられ、一般の村人といっしょにみこしをかつぐことはできませんでした。

解放令後、祭の費用を等しく負担するうえは、みこしかつぎも平等にみとめてほしいと申し入れ、それが拒否されると、1879年（明治12年）裁判に訴え、3年にわたり争い、ついに勝利を勝ち取りました。

（「部落史・部落問題学習のすすめかた」 藤里晃 解放出版社より）

【ワークシート】

2年 組 名前 _____

明治時代になり、江戸時代の身分制度はどのように変わったのだろうか

1 江戸時代の身分制度はどう変わったのだろうか。

天皇の
一族

公家
大名

武士

農民

町人

えた
ひにん

1871年

() () () ()

どんな点に問題点があったらう。

[]

2 差別が残ってしまった理由を考えよう。

[]

3 解放令の意義について考えよう。

法律で平等が認められたということには、どのような意味があるのだろうか。

[]

4 学習してわかったことや考えたことを書きましょう。

[]

中学校社会科 第3学年（公民的分野） 同和問題

1 題材名 現代社会に残る差別

2 本時の目標

現代社会に残る部落差別について調べ、差別の現状や差別解消に向けての様々な取組について理解を深め、自ら差別をなくそうとする意欲をもつことができる。

3 人権教育の視点

現代社会には、依然として部落差別に苦しんでいる人がいることの不当性に気付かせる（判断力）とともに、国民的課題である部落差別の解決のための取組について共感的理解を深めていくことで（知性、感受性）、一人一人が差別解消に向けた意欲をもてるようにしたい。（実践力）

4 生かしたい生徒

A：発表は好まないがしっかりした考えをもつことができるので、グループでの話し合いの中で、考えを述べられるようにしたい。また、作業用紙への書き込みの様子などから意図的に指名し、Aの考えのよさを生かしていくことで、自信がもてるようにしていきたい。

5 展開例（略案）

人権教育上の配慮

学 習 内 容 ・ 活 動	資 料	指 導 上 の 留 意 点
<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">現代に残る部落差別について 考えよう</p> </div>	<p>【資料1】 【ワークシート】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料を読んで、今も結婚等の差別があることを理解させる。
<p>2 部落差別の現状について調べる。</p> <p>(1) 部落差別について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ どんな差別か <p>(2) 意識調査の結果を比較しながら、差別が残ってしまった原因について話し合う。</p>	<p>教科書の資料等</p> <p>【資料2】 【資料3】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書を参考にして調べ、歴史の学習を想起させながら理解させるようにする。 <p style="margin-top: 20px;">差別が残ってしまった要因として、誤った知識や偏見が引き継がれてしまったことに気付かせたい。そして、差別の解消のためにも、同和問題について正しい知識をもつことの重要性を理解させたい。</p>

<p>3 差別解消への取組について調べる。</p>	<p>ポスター パンフレット</p>	<ul style="list-style-type: none"> 市・県から出されたポスター、パンフレットを提示し、「同和問題」は解決すべき人権問題であり、行政も「国の責務」として差別をなくす努力をしていることを知らせる。
<p>4 資料「主婦の話」を読んで、感じたことを話し合う。</p>	<p>【資料4】</p>	<p>資料の「妻」「夫」の生き方、考え方に共感させるとともに、この2人のような行いは、難しいことではなく自分にもできることであると感じ取らせたい。</p>
<p>5 本時の学習をして、感じたことや考えたことを作業用紙にまとめる。</p>	<p>【ワークシート】</p>	<p>作業用紙の書き込みから、生徒の気持ちや考えをつかみ、今後の働きかけに生かすようにする。</p>

6. 資料

【資料1】 消えない同和地区への差別

私は同和地区の人間です。先日の群馬版に、T市が実施した「人権に関する市民の意識調査結果」の記事が載っていました。その中で、同和問題に関して差別があると思われるケースとして、63%の人が「結婚の時」と答えたとありました。

差別は決してなくなっていないのだと悲しく思いました。日常では差別はしませんが、結婚となると話は別だという本音が見えます。これはより醜い差別の形だと私は思いました。

子どものころ同級生の家に行くと、家の人にしげしげと見られながら「あら、きちんとしているのね」と言われたことがありました。私は大学も出してもらい、公務員になりました。

同和地区に生まれたことを悩んだこともありました。しかし、自身をしっかりと見つめた時、「そんなことは関係ない。私は私。」と、人より優れても劣ってもいない自分を見つけ、差別は世間の勝手であり、私の存在には何の関係もないことを知りました。

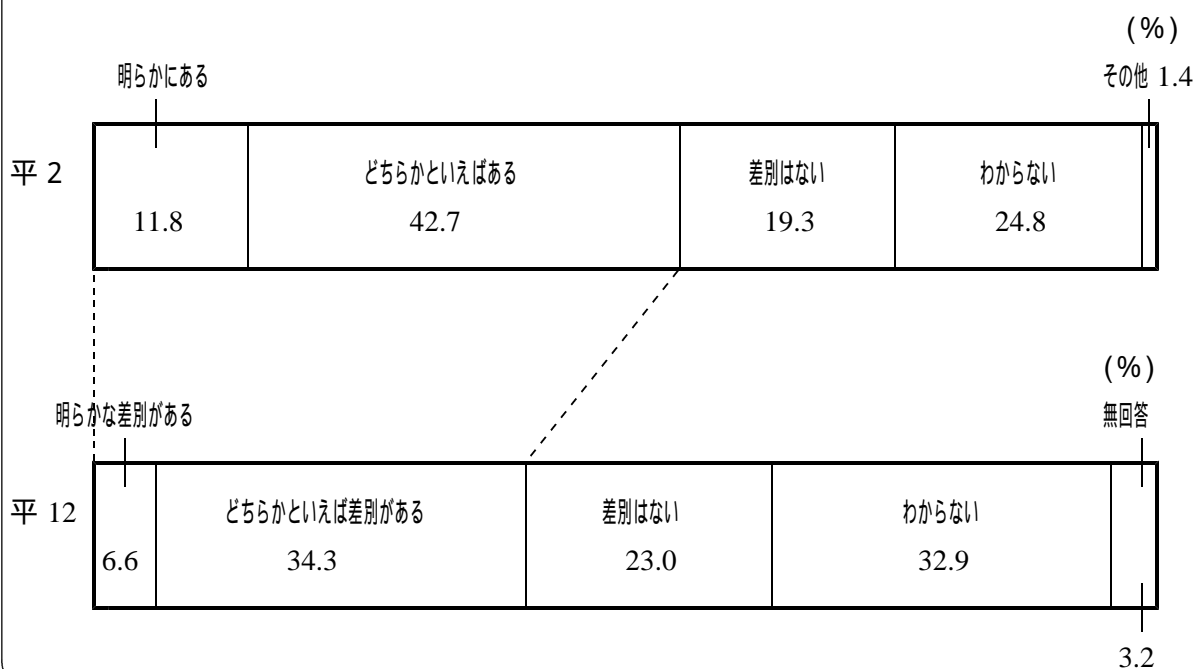
21世紀を迎えようとしている今、人間は人間の何物でもないということをもっと自覚すべきではないでしょうか。
(公務員41歳)

(出典 平成11年9月21日 読売新聞の「氣流」 人権教育指導資料「様々な人権問題に関する指導資料集」 栃木県教育委員会)

【資料2】 栃木県同和問題意識調査(平成2年)

栃木県人権・同和問題意識調査(平成12年)

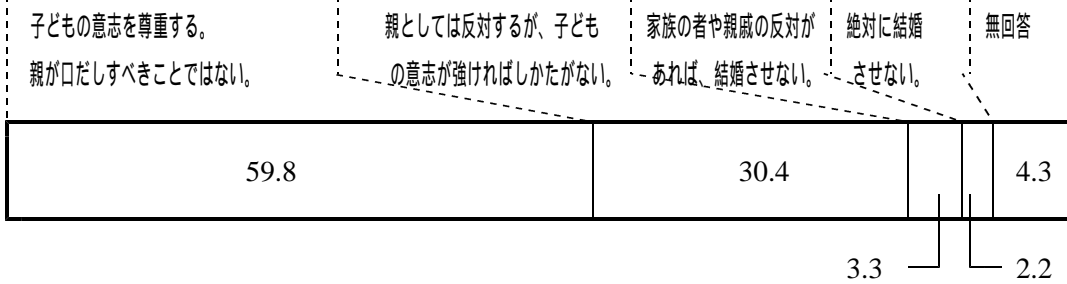
問15 結婚差別の認知



【資料3】 栃木県人権・同和問題意識調査 平成12年

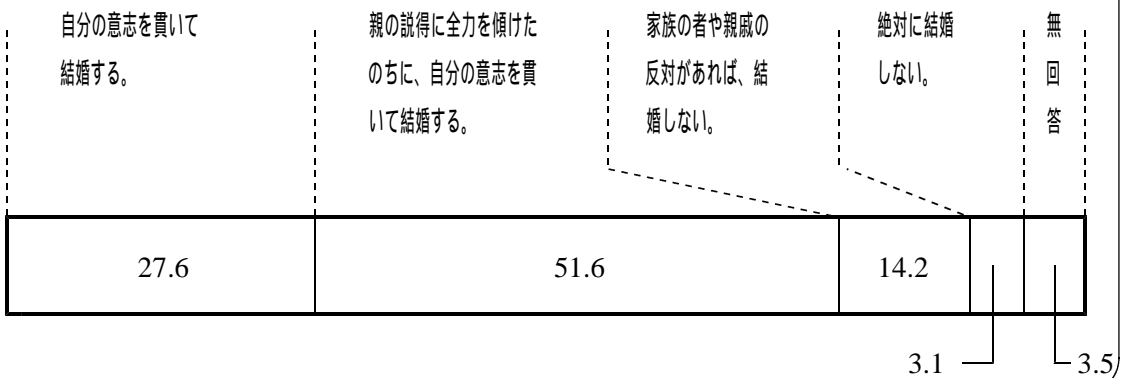
問18 結婚に対する態度（既婚の人のみ）

かりに、あなたのお子さんの結婚しようとする相手が、同和地区の人であるとわかった場合、あなたはどうしますか？



問18 結婚に対する態度（未婚の人のみ）

かりに、あなたが同和地区の人と恋愛し、結婚しようとしたとき、親や親戚から強い反対を受けたら、あなたはどうしますか？



【資料4】 主婦の話

私は、同和地区の出身です。同和地区の出身でない夫と結婚し、4人の子供に恵まれ、毎日明るく楽しい家庭生活を送っています。

小学校の頃、母から被差別部落のことについての話を聞きました。母は、被差別部落の人々がその当時の社会を支えてきたことを教えてくれました。その後、部落差別の解消を目指して、家族ぐるみで活動してきました。

中学校のときには、被差別部落のことを悪く言う人に正しいことを教えてやりました。今まで、同和地区の出身という理由から、友達との付き合いの中で引け目を感じたことはありません。

夫とは、友達で紹介で知り合いました。交際を続け、結婚する前に「私は同和地区の生まれです。」と話しました。すると、夫は「そんなこと関係ないよ。家だって、先祖はなんだか分からない。」と言い、全く問題にしませんでした。そんな夫の誠実な姿に引かれました。結婚後、夫は、私の家に来てくれ、一緒に生活しています。今でも夫は、こだわっていません。

今私は、子育てや家の仕事に頑張っています。いつか私も、子供たちに同和問題について話をする日がくると思います。そのときは、母に教えてもらった時のように、しっかりと教えるつもりです。（市内 31歳 主婦）

（足利市教育委員会）

現代に残る部落差別について調べよう

1 部落差別とは、どのような差別なのだろうか。

- ・ どのような人たちへの

- ・ どんな差別

2 差別が今も残っている理由は何だろう。

3 差別解消への取組

1922年 結成

1965年 の答申

部落差別をなくすことは、国の責務であり、国民的課題

4 資料の「主婦の話」を読んで、「主婦」や「夫」の生き方について、感じたことや考えたことを書きましょう。

[]

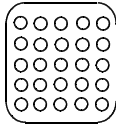
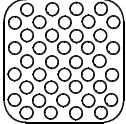
5 学習して感じたことや考えたことを書きましょう。

[]

小学校算数科 第5学年 障害者

- 1 単元名 ご石の数え方（教育出版）
- 2 本時の目標
正方形の中に並べられた点の数を、落ちや重なりがない求め方を考え、図や式に表したり、式をよんだりすることができる。
- 3 人権教育の視点
日常生活の中で、目の不自由な人のために点字ブロックが歩道などに設置されていることに気付かせ、使用する人のことを考えて複数の形状の点字ブロックが使い分けされるなど、障害のある人の立場で考えることの大切さを感じ取らせたい。（感受性）
- 4 生かしたい児童
A：思いやりがあり点字などについて大変興味をもっていることから、障害のある人の気持ちを共感的に理解できると考えられるので、授業のまとめの段階で意見を取り上げたい。
- 5 展開例（略案）

人権教育上の配慮

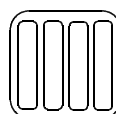
学 習 内 容 ・ 活 動	資 料	指 導 上 の 留 意 点
<p>1 本時の学習課題を知る。</p> <p>点字ブロックの点の数を求めよう。 (ア) (イ)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>	<p>身の回りで使われている点字ブロックの写真 【ワークシート】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前時に学習した正方形に並んだご石の数の求め方を掲示し、想起しやすいようにしておく。 点字ブロックの写真を提示し、点字ブロックへの興味・関心を高める。 点字ブロックは、歩道など様々な所に設置されていることや、目の不自由な人が歩行する場合、非常に大切なものであることに気付かせる。 ・ 点字ブロックは一種類でなく、複数の種類があることを知らせる。 ・ (ア)の点字ブロックを初めに扱い、点の数を求める方法はいろいろあることに気付かせる。 ・ 図の点をまとまりごとに丸で囲むことや、式で表し求めることなど、解決方法の手順を全体で確認する。 ・ 縦や横、斜めなど、様々な見方があることを助言し、見通しをもたせる。 ・ 解決できた児童には、別の方法でも考えるよう助言する。
<p>2 (ア)の点字ブロックの点の数を求め、発表する。</p>		
<p>3 (イ)の点字ブロックの点の数を、工夫して求める。</p>		

<p>4 求め方を発表し、話し合う。</p> <p>5 点字ブロックについての説明を聞く。</p> <p>(1) 2種類あるわけ</p> <p>(2) 点字ブロックの歴史</p> <p>(3) 点字ブロックの現在</p>	<p>【資料】</p>	<p>・ それぞれの工夫した求め方のよさに気付かせる。</p> <p>A児に、点字ブロックなどについて知っていることの発表を促し、障害のある人の立場で考えることの大切さに気付かせる。</p> <p>点字ブロックの歴史などについて説明し、発明されるまでの苦労や工夫について共感的に理解させたい。</p>
--	-------------	--

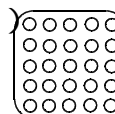
6 資料

【点字ブロックが2種類あるわけ】

(A)



(B)



細長い線がついている(A)は、「この線の向きに進めば安全ですよ」と進む方向を表す「誘導ブロック」です。これは、デコボコが線になっているので「線状ブロック」とも呼ばれ、歩道や公共施設の中などで使われています。それに対して、丸いデコボコがついている(B)は、「この先は危ないですよ」と危険や注意を表す「警告ブロック」です。デコボコが丸いので「点状ブロック」とも呼ばれています。警告ブロックは、横断歩道の前などで使われています。

目の不自由な人は、進行方向を表す誘導ブロックにそって歩道を歩きます。そして、横断歩道手前で注意を表す警告ブロックに変わること、「横断歩道が前にある」ということに気づくことができるわけです。

【点字ブロックの歴史】

岡山県の三宅精一さんは、友人が病気で視力を失ってしまったことや、目の不自由な人が道路を横断しようとした時に車にひかれそうになったことを目撃したことがきっかけで、目の不自由な人が安全に歩ける手段はないかと考え始めました。危険な場所と安全な場所が足の裏で感じ取れるように、突き出したものがあるブロックを作ろうと考えました。形や大きさ、突起の形などをいろいろ試行錯誤し、1965年、ついに点字ブロック第1号を完成させました。

最初はなかなか認めてもらえませんでした。1967年ようやく岡山県立岡山盲学校近くの横断歩道口に、世界で初めて点字ブロックを寄贈し設置しました。その後も私財をなげうって研究を続け、いろいろな所へ点字ブロックを寄贈しました。

行政としては、宇都宮市がいち早く交差点に振動触知式信号機16機と点字ブロック250枚をセットで設置しました。その後、少しずつ国や県の費用で点字ブロックが設置されるようになり、全国に広まっていきました。

【点字ブロックの現在】

点字ブロックは全国に普及しましたが、突起の形などが全国共通でなく、目の不自由な人を困らせる原因となっていました。そこで、その問題を解決するために、国は点の形や大きさ、突起の形などを決めた日本工業規格(JIS規格)を2001年に制定しました。

参考文献 「バリアフリー入門」 もりすぐる著 緑風出版

「三宅精一ノ点字ブロック誕生物語」 小林幸雄

(<http://www1.harenet.ne.jp/~kobayuki/miyakeseiiti.htm>)

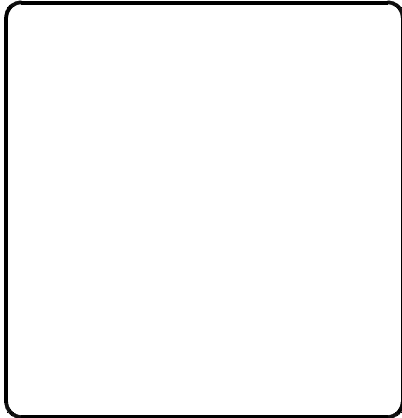
【ワークシート】

点字ブロックの点の数を求めよう

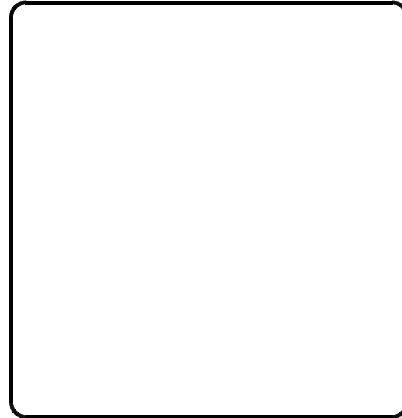
名前()

点を丸で囲んでみましょう。(何通りも考えてみましょう。)

囲み方を式に表してみましょう。



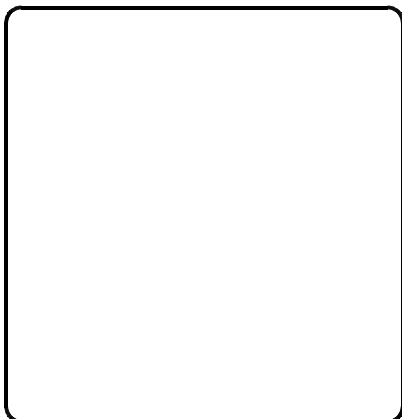
【式】



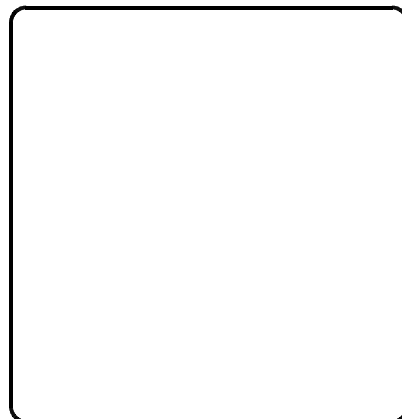
【式】

答え _____

答え _____



【式】



【式】

答え _____

答え _____

中学校数学科 第2学年 障害者

- 1 単元名 点字で数学しよう（教育出版）
- 2 本時の目標
 帰納的な考え方や類推的な考え方を利用して、点字の五十音表の規則性を考察することができる。
- 3 人権教育の視点
 点字のすばらしさや、目の不自由な人にとって点字がかけがえのないものであることを共感的にとらえさせたい。（感受性）
- 4 生かしたい生徒
 A：ボランティア活動に参加した経験が豊富であるため、点字について知っていることを学習の導入時に発表させ、学級全体の点字に対する関心を高めたい。
- 5 展開例（略案）

人権教育上の配慮

学 習 内 容 ・ 活 動	資 料	指 導 上 の 留 意 点
1 点字について知っていることや調べてみたいことについて発表する。	点字が使われている実物や掲示写真	Aに点字や目の不自由な人に関して知っていることを発表させ、点字に対する関心を高める。 ・ 点字が使われている実物や写真を提示しながら、点字は、文字を指で確認できるように、突起の部分と平らな部分の組み合わせで表すことや、6つの点で五十音を表すことができることを確認する。
2 本時の学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 点字のしくみを考えよう。 </div>		・ 点字には何かきまりがあるのだろうかと投げかけることにより、知的好奇心を喚起しながら課題を提示する。
3 点字のしくみを考える。 (1) 点字はなぜ6個の点でできているのかを考える。	【ワークシート1】	・ 6個の点で、何通りの表し方ができるかを考えさせる。 ・ 考えるときには、実際に6個の点を用いさせたり、表や樹形図、計算で考えさせたりするなど、多様な方法で取り組ませる。 ・ 6個の点で考えることが難しい生徒には、2個の場合や3個の場合の組み合わせで考えてみるように助言する。

<p>(2) 点字の五十音表を、いくつかのヒントを参考に考える。</p>	<p>【ワークシート2】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 規則性を見つけることが難しい場合には、行や段の共通点に目を向けるよう助言する。
<p>4 点字がどのような規則で構成されているのか、気付いたことを発表する。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の発表を基に、学級全体で五十音表を作り上げることで達成感を味わわせる。
<p>5 点字の歴史についての話を聞く。</p>		<p>6個の点で五十音を表現できるすばらしさや、目の不自由な人の立場から、より簡単に五十音分かるよう規則的に構成されていることに気付かせる。</p> <p>点字が発明されるまでの歴史を解説し、身近なところにも障害のある人のことを考えた様々な取組があることを理解させたい。</p>

6 資料

点字の五十音表

あ	い	う	え	お	は	ひ	ふ	へ	ほ
か	き	く	け	こ	ま	み	む	め	も
さ	し	す	せ	そ	や		ゆ		よ
た	ち	つ	て	と	ら	り	る	れ	ろ
な	に	ぬ	ね	の	わ		を		ん

< 参考資料 「点字の歴史」 http://.nise.go.jp/portal/elearn/shiryuu/tenzi_rekishi.pdf >

このホームページには、点字を考案したルイ・ブライユの紹介や、点字を日本語に当てはめて使えるようにした石川倉治等の資料が掲載されています。

【ワークシート1】

点字のしくみを考えよう1

年 組 氏名(_____)

点字は、下の図のような6つの点に、突起があるかないかで、1つの文字がつくられています。点字のしくみについて考えよう。



あ い う え お

(は突起があることを、 は突起がないことを表しています。)

点字はなぜ6個の点からできているのか考えよう

6つの点の組み合わせで、何通りの文字が表現できるでしょうか。

【ワークシート2】

点字のしくみを考えよう2

年 組 氏名()

点字の五十音表をつくってみよう

(ただし、「や行」と「わをん」は除いて考えてください)

次の例をもとに、点字の五十音表をつくってみよう。

(例) つ く え わ た し い す へ や

あ か う ま お と こ の り

あ い う え お は ひ ふ へ ほ

か き く け こ ま み む め も

さ し す せ そ や ゆ よ

た ち つ て と ら り る れ ろ

な に ぬ ね の わ を ん

自分の名前を点字で表してみよう

() () () () () () () () () () () ()

わかったこと

小学校理科 第5学年 人権一般（生命尊重）

1 単元名 動物のたんじょう（ヒトのたんじょう）

2 本時の目標

人の誕生について調べ、人の発生や成長について理解することができる。

3 人権教育の視点

自分の生命が、多くの人の生命を受け継いだものであることを理解させることにより、自他の生命を大切にしようとする心情を育てたい。（知性・感受性）

4 生かしたい児童

A：友達に対して優しく思いやりのある言動が見られるが、自信がもてず、はっきりと自分の考えを言えないこともある。そこで、本児の意欲的に学習に取り組む姿勢を生かすことにより、他の児童への意欲付けを図るとともに、A児自身にも自分のよさを実感させ、自信をもたせたい。

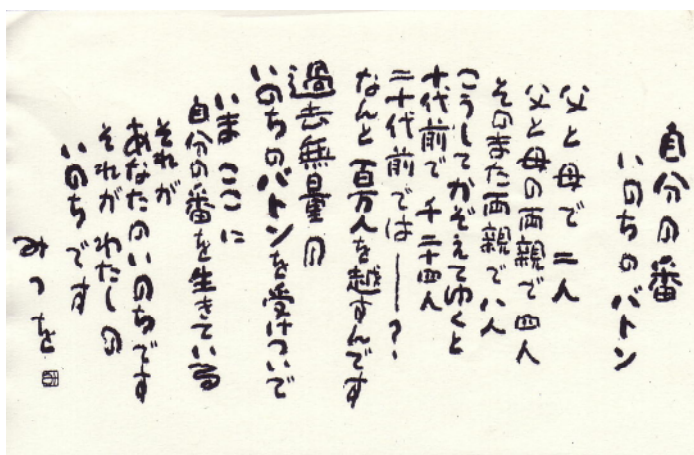
5 展開例（略案）

人権教育上の配慮

学 習 内 容 ・ 活 動	資 料	指 導 上 の 留 意 点
<p>1 本時の学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>調べたことを発表し合い、人の誕生について理解を深めよう。</p> </div>		<ul style="list-style-type: none"> ・ 本単元では、メダカの誕生の学習か人の誕生の学習かを児童が選択することになっているが、今回は学級全体で人の誕生についての追究活動を行い、単元の後半で人についての発展的な学習かメダカの誕生についての学習かを選択するものとした。
<p>2 人の誕生について調べたことをグループ内で発表する。</p>	<p>【ワークシート】 図書資料 人の発生と発育模型 ビジュアルプレゼンター</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時までには調べ学習をしておく。調べ学習を実施するに当たっては、参考となる図書資料やビデオ、模型を準備して課題別に「資料コーナー」を設置したり、調べたことや疑問などを自由に話し合う場として「情報交換ボード」を活用したりする。 ・ 調べたことだけでなく、調べた感想や自分の考えなども含めて、自分なりの方法で発表するようにさせる。 ・ 発表を聞くときは、最後まで真剣に聞くようにし、ワークシートに気付いたことを記入させる。
<p>3 友達の発表を聞いて、気付いたことや考えたことを発表する。</p>	<p>【ワークシート】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発表された内容を賞賛するなど、一人一人の気付きを大切にす。

<p>4 胎児の心音を聞く。 「この音は何の音でしょう？」</p> <p>5 妊婦の話を聞く。 妊婦の腹部に手をかざし、おなかの中にいる赤ちゃんに対して、今、どんな思っているのか話してもらおう。</p>	<p>胎児の心音を録音したテープ</p>	<p>A児に発表させ、その考えのよさを取り上げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 本事例の最後に掲載している【参考ホームページ】にアクセスすると胎児の心音を聞くこともできる。 <p>生命の大切さや生命の連続性に気付くような話を、妊婦や乳幼児をもつ母親、産科の医師などのゲストティーチャーに話してもらおう。</p>
<p>6 「自分の番 いのちのバトン」を読む。</p>	<p>【資料1】</p>	<p>自分の生命が自分一人だけのものではなく、それぞれ精一杯生きてきた多くの人から受け継いでいることを理解させたい。また、その生命が、未来へ受け継いでいく存在であることも自覚させたい。</p>
<p>7 本時の学習をもとに、「いのち」について考えたことや感じたことをまとめる。</p>	<p>【ワークシート】</p>	<p>自分の生命だけではなく、周りにいる友達の生命など、すべての人の生命が同じようかけがえのない存在であることまで考えられるよう、助言する。</p>

6 資料
【資料1】



相田みつを著「しあわせはいつも」(文化出版局刊)より

© 相田みつを美術館 <http://www.mitsuo.co.jp/>

【ワークシート】

ヒトのたんじょう発表会ワークシート

5年 組(_____)

ヒトは、母親の体内でどのように育ち、たんじょうするのだろうか。

友達の発表の中で、キラリと光っていたことはないかな。よく聞いて書いてみよう。
「初めて知ったこと」や「すごいなと思ったこと」「不思議だなと思ったこと」を短い言葉でメモしてみよう。

「いのち」について考えたことや感じたことを書いてみよう。

【参考ホームページ】

調べ学習支援ソフト「せいめいたんじょう」

(<http://homepage1.nifty.com/bird-edu/edu/tanjyo/index.html>)

「野鳥と教育～鳥を学ぼう～」より

中学校理科 第3学年（第2分野） 人権一般（個人の尊重）

1 単元名 生物のふえかた

2 本時の目標

有性生殖では形質が両親の染色体にある遺伝子を通して子に伝わり、減数分裂のしくみとを関連付けて理解することができる。

3 人権教育の視点

ヒトと生物の遺伝のしくみについて理解することを通して、ヒトや生物の形質の現れ方は多様性に富んだものであり、一人一人の違いに優劣の差はないことをとらえさせたい。（知性・判断力）

4 生かしたい生徒

A：思いやりがあり、級友に公平に接することができる。感想発表の折に意図的に指名し、Aの考えのよさを学級全体に広げるようにしていきたい。

5 展開例（略案）

人権教育上の配慮

学 習 内 容 ・ 活 動	資 料	指 導 上 の 留 意 点
1 「みんな同じ顔をしているだろうか」「なぜそうなるのだろうか」について、自分の考えを書いたり、発表したりする。	ワークシート	<p>「自分の考えを大切にしよう。同じように他の人の考えも大切にしよう。」などと助言し、一人一人が互いの考えを認め合い尊重できるような雰囲気をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「親が違うから」という反応が出た場合は「では、兄弟は同じ顔をしているかな」などと発問して、「なぜ違うのか」と疑問をもたせ本時の学習への関心を高める。
2 資料1「遺伝と形質」を読む。	【資料1】	<ul style="list-style-type: none"> ・ まず生徒各自に読ませ、遺伝についての概要をとらえさせる。その後、教師が範読し、重要な語句を強調し理解させる。
3 問い3「なぜ遺伝するのか」について、自分の考えを書いたり、発表したりする。		<ul style="list-style-type: none"> ・ 書けない生徒には、既習事項の「有性生殖のしくみ」について振り返らせる。
4 資料2「遺伝と遺伝子」を読む。	【資料2】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遺伝情報の量と染色体の本数は関係がないことについて説明する。

<p>5 減数分裂について説明を聞き、まとめる。</p> <p>6 メンデルの行った実験について説明を聞く。</p> <p>7 資料3「ヒトの対立形質の優性、劣性」を読み、感想を書いたり発表したりする。</p> <p>8 本時の学習をふり返り、授業を通して気付いたこと、考えたことを話し合う。</p>	<p>【資料3】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 染色体の本数が半分になる分裂について説明する。 ・ 「優性の法則」について説明する。 <p>「優性とは優れていることだろうか」などと発問し、生徒の心の動きを確認する。</p> <p>Aを指名し、考えのよさを全体に広げる。</p> <p>組み手、まぶたなどを例に挙げ、優性・劣性についてどちらか一方の形質の方が優れているとは言えないことに気付かせる。</p> <p>優性・劣性という言葉は価値の優劣があるような印象をもたれがちであるため、価値判断の加わらない言葉に変える必要があるという指摘があることを補足する。</p> <p>「遺伝の法則」の意味、「生物の多様性」の集団における意義について触れる。</p> <p>生物学的な特徴や遺伝子の現れ方の優劣は、一人一人の人間の価値とは関係ないことに気付かせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生物は共通の特徴を持ちながら、種間、種内で形質に違いがあり、このような多様性を保持した状態が安定であることを補足する。
--	--------------	---

6 資料

【資料1】 「新しい科学の教科書」 (左巻健男ほか 文一総合出版)

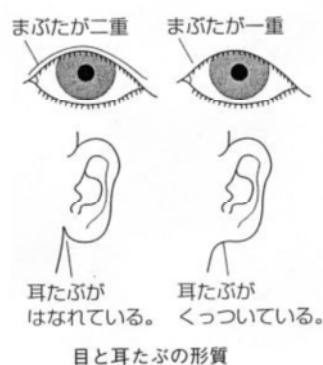
遺伝と形質

みんなはヒトで、みんなの親もヒトです。その親の親(つまりみんなからいうと祖父母)もヒトです。このようにヒトの子はヒト、そしてチンパンジーの子はチンパンジーです。

また、みんなの顔の特徴などは祖父母や両親に似ていることが多いでしょう。このように親から子へ、子から孫へと生物としてのいろいろな特徴が伝わることを**遺伝**といいます。また、遺伝によって伝わる生物の形や性質などの特徴を**形質**といいます。

ヒトでいうと、目や肌の色、まぶたが一重か二重か耳たぶがくっついているか、はなれているかなどは遺伝で決まります。

さらに外見だけでなく、ヒトの気質や性格にも遺伝の影響があるとわれています。ヒトの性格は環境の中でつくられていく部分が大いのですが、遺伝に影響される部分もあります。その両方が複雑に組み合わさってヒトは人間らしくなっていくのです。



【資料2】 「新しい科学の教科書」 (左巻健男ほか 文一総合出版)

遺伝と遺伝子

形質はなぜ親から子へ、子から孫へと伝わるのでしょうか。

親から子へ伝わるものは、卵と精子の核だけです。核の中には何が入っているのでしょうか。細胞分裂のときに、核の中に染色体が見えます。いろいろな動物で、この染色体の数や形を調べてみると、種によってすべてちがうことがわかりました。

例えば、ヒトの染色体の数は46本と決まっております。ほぼ同じものが2本ずつセットになって23対あります。

染色体は生物のいろいろな形質を決める物質である遺伝子が数多く集まったものです。親から子に伝えられるものは、実はこの染色体(遺伝子の集まり)なのです。ですから染色体がそのままきちんと親から子へ伝えられれば子どもは親と同じ種類の生物になるのです。

染色体の数

ミツバチ	16
オオミジンコ	20
アマガエル	24
トカゲ	26
ネコ	38
ヒト	46
イヌ	78
ニワトリ	78

【資料3】

ヒトの対立形質の優性と劣性

- まぶた ...二重まぶたが一重まぶたに対して優性といわれる。しかし、左右の眼で異なる人がある。また、年令とともに二重まぶたに変わる傾向もある。
- 耳たぶ ...耳たぶが離れているのが優性、耳たぶが顔についているのが劣性である。
- 巻き舌 ...舌先を筒状に巻くことができる人とできない人があり、できる方が優性であるといわれている。
- 耳あか ...耳あかが湿っている（ウェット）人と乾いている（ドライ）人があり、ウェットが優性である。
- 髪 ...波状毛が優性、直毛が劣性である。
- こう彩の色 ...眼のこう彩の色はさまざまであるが、褐色と青色とでは褐色の方が優性といわれている。
- 組み手 ...左指が上になるのが優性、右指が上になるのが劣性といわれている。

	優 性	劣 性
まぶた	二 重	一 重
耳たぶ	耳たぶが離れている	耳たぶが顔についている
巻き舌	舌先を筒状に巻くことができる	舌先を筒状に巻くことができない
耳あか	湿っている（ウェット）	乾いている（ドライ）
髪	波状毛	直毛
こう彩の色	褐 色	青 色
組み手	左指が上になる	右指が上になる

感 想

【参考資料】

- 「新しい科学の教科書」左巻健男ほか 文一総合出版
- 「小森理科資料室」小森栄治 <http://homepage3.nifty.com/e-komori/>
- 「高校ベストコース 生物」碓井益雄 学研

小学校生活科 第2学年 障害者

- 1 単元名 もっとまちをしりたいね (小単元名 さがしてみる)
- 2 本時の目標
 探検してきた公共施設における工夫や、それを支えている人々の役割に気付くことができる。
- 3 人権教育の視点
 自分達の生活の場である地域の公共施設や設備には、障害のある人々に対し、利用しやすいような工夫があることを理解させたい。(知性)
- 4 生かしたい児童
 A：人権作文で、車いすを使っている人々とその周りの人々のことを題材に書いていた。
 A児に作文を発表させることにより、クラスの児童にも障害について考える機会をもたせたい。
- 5 展開例(略案)

人権教育上の配慮

学 習 内 容 ・ 活 動	資 料	指 導 上 の 留 意 点
1 本時の学習のめあてを確認する。 施設見学で気付いたこと、感じたことを話し合おう。	前時までの学習シート	・ 前時の公共施設の見学を思い起こさせ、本時のめあてをよく理解させる。
2 各施設ごとに、気付いたこと感じたことを発表し、話し合う。 ・ コミュニティーセンター ・ 図書館・郵便局・交番 など	写真	・ 公共施設の工夫や働く人々の役割に気付かせる。 ・ 事前に内容をチェックし、発表の支援をする。
3 利用しやすいための工夫について話し合う。	学習シート	・ 児童から出なかったものは、事前に用意しておいた資料を提示する。
4 3で扱った工夫の中で、障害のある人々のための工夫について、資料を活用して考える。 (1) 工夫を選び出す。 (2) 工夫について詳しく知る。 (3) 友達の作文を聞く。	【資料1】 写真 V T R 人権作文	障害別に分類整理し提示する。 昇降機の利用等のV T Rを視聴させ、実感的に理解させる。 A児に障害者に関する人権作文を朗読させることで、障害について考える機会をもたせる。
5 今日の授業で思ったこと・感じたことをまとめ、発表する。		・ ねらいにせまるために机間指導を行い、数人を意図的に指名する。

6 資料

【資料1】 ※配布物ではなく、板書例としてのもの

目がふじゆうな人 のためのくふう	・点字案内・表示 ・点字ブロック ・音声案内 ・盲導犬対応 など
耳がふじゆうな人 のためのくふう	・電光掲示板 ・音量調整機能 ・FAX問い合わせ ・文字放送TV など
車いすをりようする人 のためのくふう	・スロープ、段差なし（フラット） ・エレベーター、昇降機 ・駐車場 ・トイレ ・自動販売機 など

参考としたホームページ

「こどもワムネット」

<http://www.wam.jp/child/>

「チャレンジステーション」

<http://edu.cside.ne.jp/challenge/>

「とよた福祉ガイドブック」

<http://www.city.toyota.aichi.jp/h-guide/>

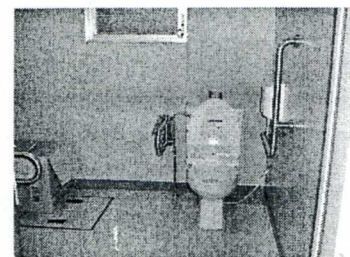
わたしたちの市や町にあるしょうがいのあるひとのためのくふう



だんさのないつうろ



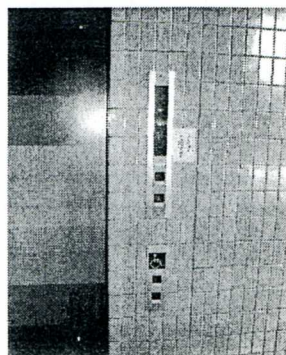
車いすようの
トイレとひょうじ



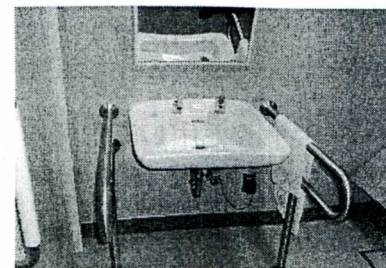
トイレの中
(手すりがありひろい)



車いすのままつかえる
スロープ
(かいだんのかわり)



車いすようのボタン
点字のひょうじ



水どう

中学校英語科 第2学年 子ども

- 1 教材名 Program 4 With Love and with Joy part 1
(SUNSHINE ENGLISH COURSE 2)
- 2 本時の目標
マザー・テレサがどのような奉仕活動から始めたのかを読み取ることができる。
- 3 人権教育の視点
世界には貧困に喘ぎ、学校に通うこともできない子どもたちがいるという現実を知り(知性)、共に幸せに生きていきたいという心情を育てる。(感受性)
- 4 生かしたい生徒
A：友達の悩みなどを親身になって考えるなど、常に周囲と仲良く生活したいという気持ちをもっているAは、マザー・テレサの行動に共感できると予想されるため、Aの意見を生かしたい。
- 5 展開例 (略案)

人権教育上の配慮

学 習 内 容 ・ 活 動	資 料	指 導 上 の 留 意 点
<p>1 Warming-up</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 英語の歌を歌う。 ・ 既習の単語、“no”の意味や働きなど、既習事項を確認する。 ・ 本時の学習内容を知る。 <p>2 内容理解</p> <p>(1) 本文の口頭導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 絵や写真を見ながら、めぐまれない子どもたちのことやマザー・テレサについて、英語による口頭導入を聞く。 ・ 英語の質問に答え、口頭導入の内容を確認する。 Who is this woman? Did they have any pens? What did she teach to the children? <p>(2) 本文の読みとり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本文を黙読する。 ・ 内容についての質問に答える。 コルカタの子どもの様子はどうでしたか。 あなたはそれをどう思いますか。 	<p>【資料1】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 英語を学習する楽しい雰囲気をつくる。 ・ 本時は、本単元の最初の授業になるので、マザー・テレサの活動を通し奉仕活動について関心をもたせることで、本単元への学習意欲を高める。 ・ 教科書は閉じて聞かせる。 ・ 難しい語句は日本語を添えたり、絵や写真などで補足し、理解の助けになるようにする。 簡単な質問を通し、コルカタの子どもたちの現状やマザー・テレサの行った行動について理解させる。 ・ 生徒の答えに対して、「Can you believe it?」などの応答で、生徒と教師のinteractionを大切にする。 ・ 意味のわからない文や語句に印をつけながら黙読させる。 貧しい子どもたちの現実を見つめさせる。 「かわいそう。」といった消極的理解ではなく、ともに幸せに生きていきたいという心情をもたせる。

<p>マザー・テレサは何をしましたか。</p> <p>3 本文の音読</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新出語句を確認する。 ・ 教科書の文をCDで聞く。 ・ 教師のあとに続いて音読する。 ・ 友達と読み合わせをする。 <p>4 本時のまとめと次時の予告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 音読の発表をする。 ・ 次時の学習の予告を聞く。 	<p>生徒Aを指名し、その発表をもとに、マザー・テレサが恵まれない子どもたちを積極的に助けたことに着目させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ フラッシュカードを用いて、意味の確認や発音練習を行う。 ・ 発音、アクセント、音調に注意し、気持ちを込めて音読させる。 ペアがつかれない生徒がいないように配慮する。 ・ アクセントや気持ちを込めた音読など良さを認め賞賛する。 マザー・テレサのとった行動は、貧しい人々の人権を守る奉仕活動へと広がりを見せたことに触れ、次時の学習への関心・意欲をもたせる。
---	--

6 資料

【資料1】 Introduction(口頭導入)

(Picture 1) Look at these pictures. They don't have their houses. They live in streets.? Yes. They are called street children.

(Picture 2) Where is this ? This is Kolkata in India. More than 4 hundreds of thousands people(4 0 万人) live on the streets in Kolkata.

(Picture 3) Look at this woman. Who is she? Do you know her name ? Yes. She is Mother Teresa. She worked for the poor in Kolkata.

(Picture 4) One day in 1948, Mother Teresa gathered five children. She asked “ How old are you ? ” They answered “ Thirteen. ” “ You don't go to school? ” “ We have no schools and no money for study. ” Then what did Mather Teresa do for the children? (マザー・テレサはいつたいどうしたのでしょうか。) She gathered together some children and taught the alphabet, numbers and Bengali (ベンガル語) to them. They had no pens and no notebooks. So she wrote the alphabet on the ground with a twig (小枝).

picture1: “美しい地球を子どもたちに” <http://www.chikyumura-machida.org/africa/report01.html>

picture2: 地図帳にあるインドとコルカタが記載されている地図

picture3: 英語の教科書の巻頭写真

picture4: 教科書本文中の絵

中学校英語科 第3学年 障害者

1 教材名 Unit 1 Let's Learn Braille part 3
(NEW HORIZEN English Course 3)

2 本時の目標

点字の歴史や仕組みについて理解し、点字の読み方について受身形を使って説明できる。

3 人権教育の視点

日本の点字の歴史や仕組みについて知り、点字のすばらしさや目の不自由な人にとって点字が大切なものであることに共感することができる。(感受性)

4 生かしたい生徒

A：常に相手の立場に立って行動できるAは、目の不自由な人にとって、点字がどのように大切なものであるかを理解できることが期待されるため、内容理解においてAの意見を生かしたい。

5 展開例(略案)

人権教育上の配慮

学 習 内 容 ・ 活 動	資 料	指 導 上 の 留 意 点
<p>1 Warming Up</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 英語の歌を歌う。 ・ 既習の単語を確認する。 ・ 本時の学習内容を知る。 	<p>【資料1】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 英語を学習する楽しい雰囲気をつくる。 ・ かなの点字の仕組みを理解し、前時までに学習した受身形を使って点字の読み方を説明するという本時の学習内容を明確にする。
<p>2 内容理解</p> <p>(1) 本文を口頭導入により理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 写真や絵を見ながら、点字の歴史や仕組みについて、また、目の不自由な人にとって点字が大切なものであることについて、英語による口頭導入を聞く。 ・ 質問に答え、口頭導入の内容を理解する。 <p style="padding-left: 20px;">点字が作られたことによりどんなことができるようになったか。</p> <p style="padding-left: 20px;">行や段を表す点はそれぞれどれか。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書は閉じて聞かせる。 ・ 難しい語句は日本語を添えたりし、図などで補足し、理解の助けになるようにする。 <p style="padding-left: 20px;">生徒Aを指名し、発表を生かして点字が目の不自由な人の生活をどのように変えたのか気付かせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 点字の仕組みの良さに気付かせる。 ・ 日本におけるかなの点字の歴史や仕組みについて確認させる。

<p>(2) 本文の読み取りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本文を黙読する。 ・ 受身形を含む質問文に答える。 <p>Was Braille introduced to Japan during the Edo era?</p> <p>How many dots are used in the braille for <i>kana</i>?</p> <p>3 本文の音読</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新出語句を確認する。 ・ 教科書の文をCDで聞く。 ・ 教師のあとに続いて音読する。 ・ 友だちと読み合わせをする。 <p>4 表現活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 点字の読み方や作り方について、受身形を使って簡単な英文を作る。 ・ 作った文を図で示しながら発表する。 <p>5 本時のまとめと次時の予告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 受身形の使い方の確認をする。 ・ 点字に関する説明を聞く。 ・ 次時の学習の予告を聞く。 	<p>【ワークシート】</p> <p>【ワークシート】</p> <p>【資料2】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 意味のわからない文や語句に印をつけながら黙読させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ フラッシュカードを用いて、意味の確認や発音練習を行う。 ・ 発音、アクセント、音調に注意し、気持ちを込めて音読させる。 ペアがつかれない生徒がいないように配慮する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 机間指導により、受身形を使った英文が書けない生徒には、例として示した文を丁寧に説明する。 ・ 黒板に書かれた点字の枠に「かな」を表す点字を黒い磁石で貼り、作った英文の意味を理解しやすくする。 ・ 発表の良さを認め、賞賛する。 <p>本文の内容に関連して、かなの点字が目の不自由な人が生活する上でとても役立っていることも補足する。</p> <p>目の不自由な人のために、点訳のボランティア活動があることに触れ、次時への関心・意欲を持たせる。</p>
--	--	--

6 資料

【資料1】 Introduction(口頭導入)

Mike examined about Braille with internet. He wrote the report about the Japanese Braille.

Braille was invented by a Frenchman, Luis Braille about 180 years ago. He was 15 years old and a student of the school for the blind and dumb. His friends and other students were very glad.

Because they became to be able to read book and write letters each other.

It was introduced to Japan during the Meiji era. Years later *Gojyuon* style was made by Ishikawa Kuraji. Today about thirty or fifty thousands people usually use the braille in Japan.

The braille for *Kana* uses six dots like original. But it is a little different. Look at this (figure1). These three dots (1, 2, 4) are used for *gyo*(行) and other three dots (3, 5, 6) are used for *dan*(段).

The braille in (figure2) says *ku*, for example. Can you write *se* ?

【資料2】 Can you write *se*?

あ (a)	い (i)	う (u)	え (e)	お (o)

か (ka)	き (ki)	く (ku)	け (ke)	こ (ko)

さ (sa)	し (shi)	す (su)	せ (se)	そ (so)

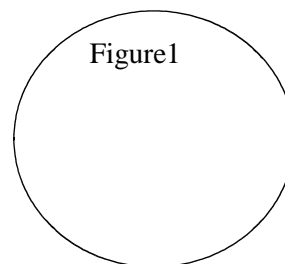


Figure1

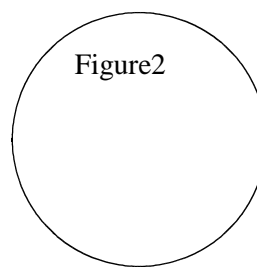


Figure2

< 参考資料 「点字の歴史」 http://.nise.go.jp/portal/elearn/shiryoku/tenzi_rekishi.pdf >

このホームページには、ルイ・ブライユの紹介や、点字を日本語に当てはめて使えるようにした石川倉治等の資料が掲載されています。

『Reading Points (質問に答えよう!)』

1. Was Braille introduced to Japan during the Edo era?
2. How many dots are used in the braille for *kana*?

『受身形を使って点字を説明しよう!』

下の点字一覧表から好きな文字を選び、 を にぬって文字を作ろう。例を参考にその文字を説明する文を考えよう。

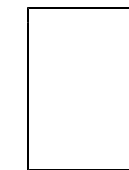
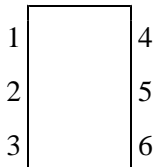
EX)



The braille in this figure says ' so ' .

Four dots are used for it.

It uses No.2,No.4,No.5and No.6.



点字の五十音表

あ	い	う	え	お	は	ひ	ふ	へ	ほ
か	き	く	け	こ	ま	み	む	め	も
さ	し	す	せ	そ	や	ゆ	よ		
た	ち	つ	て	と	ら	り	る	れ	ろ
な	に	ぬ	ね	の	わ	を	ん		

お わ り に

本年度は、各教科の授業における人権教育の充実を目指して、国語、社会、算数・数学、理科、生活、外国語（英語）の資料を作成しました。教職員の皆様には、これまでに発行された他の指導資料と併せて活用していただき、今後の本県人権教育の推進に役立てていただければ幸いです。

作成委員

鍋谷 光子	（鹿沼市立南摩小学校	教 諭）
梅山 好昭	（大平町立大平西小学校	教 諭）
手塚 昌人	（高根沢町立西小学校	教 諭）
海士 節子	（那須烏山市立烏山小学校	教 諭）
青山 静代	（佐野市立旗川小学校	教 諭）
松本 浩子	（上三川町立本郷中学校	教 諭）
井野 敏彦	（茂木町立逆川中学校	教 諭）
小野美津子	（野木町立野木第二中学校	教 諭）
須藤 崇	（那須塩原市立東那須野中学校	教 諭）
鈴木 栄	（足利市立第二中学校	教 諭）
小林 智	（河内教育事務所	指導主事）
石川 雅子	（上都賀教育事務所	副 主 幹）
大島 政春	（芳賀教育事務所	指導主事）
光野公司郎	（下都賀教育事務所	指導主事）
鈴木 厚子	（塩谷教育事務所	指導主事）
鈴木 隆一	（那須教育事務所	副 主 幹）
小川 孝博	（南那須教育事務所	指導主事）
出口 伸雄	（安足教育事務所	副 主 幹）

なお、栃木県教育委員会事務局においては、次の者が企画・編集に参画した。

学校教育課	課 長	古澤 利通
	副主幹(GL)	高橋 哲也
総務課人権教育室	副 主 幹	小林 和弘
学校教育課	指 導 主 事	菊地 明男